

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	山本 大		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1404	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8-M（省察力）知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F1 探求と論拠（20%） G1 状況把握（40%） I1 理解・分析と読解（20%） J1 継続的学修基盤（10%） M1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	Jリーグクラブや日本サッカー協会専属のプロサッカーコーチとして、これまで多くの選手・指導者を養成してきました。また分析力や論理力などの思考力、および発言の仕方やレポートの書き方など言語技術講師としての経験があります。これらの経験を生かして、指導者として現場に必要な能力を身につけることを授業を通して伝えます。（第1回～第5回、第7回～第10回、第13回、第14回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 研究・省察・議論		
授業の趣旨	■授業の副題 本ゼミナールでは、参加するゼミ生が専門とする球技の戦術について、先行研究や映像などを利用しながら、発表と議論を通して、お互いの戦術的特性や分析方法などを学習します。 ■授業の目的 これまで学習してきた球技の戦術に関する基礎知識をもとに、与えられたテーマに沿って戦術的な課題の抽出し、解決の方法を見つけ出します。さらに解決方法を、映像や文章で発表できる能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 調査の方法、映像の撮り方、議論の仕方、レポートの書き方など研究方法の基礎について学びます。		
総合到達目標	■各自が専門とする球技の戦術的な分析方法を修得するために、これまでの分析方法や、最新の方法について理解し、戦術の分析方法について修得する。 ・戦術とは何かを、発表と議論を通して再認識できる。（第2回～第14回） ・分析のための手段（先行研究や映像）の基礎を習得する。（第2回～第14回） ■分析結果を他者にわかりやすく説明するために、映像や文章で表現する力を養う。 ・映像機器や映像解析のアプリケーションが使えるようになる。（第2回～第14回） ・報告書およびブックレポートが書けるようになる。（第2回～第14回）		
成績評価方法	（成績評価手段）ディスカッション・プレゼンテーション・授業参加度 ■ディスカッション（20%）適応ルーブリック F1、G1、I1 （評価の観点）発言が論理的か、また他者の発言・発表に対して建設的に批判できるか、発表と質疑応答の量と質を評価します。 （フィードバックの方法）授業最後に振り返りを行います。		

	■プレゼンテーション（60%）適応ルーブリック F1、G1 （評価の観点）レジメと発表の内容を評価します。 （フィードバック）発表後、講評します。 ■授業参加度（20%）J1、M1 （評価の観点）出席状況および態度を評価します。	
履修条件	球技論および戦術トレーニング論の履修が望ましいです。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業内容 授業の進め方や評価について説明をおこなう。また授業の概要やその方法を学ぶ。（F1、G1） （ライティングスキル）文章の書き方の基礎を学ぶ。 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについて講義します。 ③予習（120分）シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習（120分）ライティングスキルで学習した内容をまとめておく。
	2	①授業テーマ 戦術共通理解（実践①） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、実践を通して理解する。さらに映像の撮影方法についても学習し、実行できる。（F1、G1、I1） 担当者の実務経験を踏まえて、データの取得や分析の手法についてアドバイスします。 ③予習（120分）実践予定の種目について、歴史やルール、どんな戦術があるかを調べておく。 ④復習（120分）実践した内容を記録しておく。
	3	①授業テーマ 戦術共通理解（分析①） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、分析と議論を通して理解し説明できる。（F1、G1、I1、J1） 担当者の実務経験を踏まえて、データの取得や分析の手法についてアドバイスします。 （ライティングスキル）レポートとは何か学ぶ。 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについて講義します。 ③予習（120分）映像を確認し、戦術的行動の効果や課題を探し出す。 ④復習（120分）議論した内容やノートをまとめておく。
	4	①授業テーマ 戦術共通理解（実践②） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、実践を通して理解する。さらに映像の撮影方法についても学習し、実行できる。（J1、M1） 担当者の実務経験を踏まえて、データの取得や分析の手法についてアドバイスします。 ③予習（120分）実践予定の種目について、歴史やルール、どんな戦術があるかを調べておく。 ④復習（120分）実践した内容を記録しておく。
	5	①授業テーマ 戦術共通理解（分析②） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、分析と議論を通して理解し説明できる。（F1、G1、I1、J1） 担当者の実務経験を踏まえて、分析のための持つべき視点を講義します。 （ライティングスキル）引用・参考文献とは何か学ぶ。 ③予習（120分）映像を確認し、戦術的行動の効果や課題を探し出す。 ④復習（120分）議論した内容やノートをまとめておく。
	6	①授業テーマ 情報の入手方法 ②授業内容 先行研究となる論文や書籍の入手方法を学び、実際に興味のある先行研究を探す。（F1、G1、I1、J1） ③予習（120分）興味のある戦術的課題を調べておく。 ④復習（120分）先行研究を読んでおく。
	7	①授業テーマ 戦術共通理解（実践③） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、実践を通して理解する。さらに映像の撮影方法についても学習し、実行できる。（J1、M1） 担当者の実務経験を踏まえて、データの取得や分析の手法についてアドバイスします。 ③予習（120分）実践予定の種目について、歴史やルール、どんな戦術があるかを調べておく。 ④復習（120分）実践した内容を記録しておく。
	8	①授業テーマ 戦術共通理解（分析③） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、分析と議論を通して理解する。（F1、G1、I1、J1） 担当者の実務経験を踏まえて、分析のための持つべき視点を講義します。 （ライティングスキル）要約の仕組みについて学ぶ。 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについて講義します。 ③予習（120分）先行研究を読んでおく。 ④復習（120分）議論した内容やノートをまとめておく。
	9	①授業テーマ レポートの実践 ②授業内容 報告書レポートを書いてみる。（F1、M1） 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについてアドバイスします。 ③予習（120分）興味のある先行研究を探しておく。 ④復習（120分）書いたレポートに加筆修正をしておく。
	10	①授業テーマ 戦術共通理解（実践④） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、実践を通して理解する。さらに映像の撮影方法についても学習し、実行できる。（J1、M1） 担当者の実務経験を踏まえて、データの取得や分析の手法についてアドバイスします。 ③予習（120分）実践予定の種目について、歴史やルール、どんな戦術があるかを調べておく。 ④復習（120分）実践した内容を記録しておく。
	11	①授業テーマ 戦術共通理解（分析④） ②授業内容 どのような戦術的行動が効果的なのか、分析と議論を通して理解し説明できる。（F1、G1、I1、J1） 担当者の実務経験を踏まえて、分析のための持つべき視点を講義します。 （ライティングスキル）レポートの実践：ブックレポートについて 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについて講義します。 ③予習（120分）先行研究を読んでおく。 ④復習（120分）議論した内容やノートをまとめておく。

	12	①授業テーマ ゲストスピーカーによる講演 ②授業内容 何を撮るか？どう撮るか？ということを専門家とのディスカッションを通して理解し説明できる。 (F1、G1、I1、J1) ③予習(120分) ゲストスピーカーについて調べておく。 ④復習(120分) 議論した内容をまとめておく。
	13	①授業テーマ レポートの実践 ②授業内容 テーマに沿ったレポートが書けるようになる。(F1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについてアドバイスします。 ③予習(120分) レポートの書き方について、以前学習した内容をもとに振り返っておく。 ④復習(120分) 書いたレポートに加筆修正をしておく。
	14	①授業テーマ レポートの発表 ②授業内容 13回目の授業で書いたレポートのレジメを作成し、発表できる。(J1、M1) 担当者の実務経験を踏まえて、ライティングスキルについてアドバイスします。 ③予習(120分) レジメを準備しておく。 ④復習(120分) 議論や発表の内容をまとめておく。
	15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する。(J1、M1) ③予習(120分) 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献や映像に関する情報を整理しておく。 ④復習(120分) ゼミナールⅡに向けて必要な文献や映像の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習(SSCS2317)	
教科書	特にありません。	
参考書・参考URL	特にありません。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。	
研究比率		

